

「大崎上島フォーラム」の開催概要

- 日 時 平成31年3月4日(月) 14:00~16:30
 - 場 所 大崎上島町役場2階ホール(広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1)
 - 主 催 大崎上島町
 - 運 営 一般社団法人大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア(CIFER・コア)
 - 調査団体 岬町立岬中学校科学部、CIFER・コア
 - 参加者数 65名
 - プログラム
 - ① 開会挨拶 高田幸典(大崎上島町長)
 - ② 平成30年度の業務報告と今後の予定 北田博昭(CIFER・コア参与)
 - ③ パネルディスカッション
 - (テーマ)「大崎上島の漁港漁場再生とにぎわい創出に向けて」
 - (コーディネーター) 上嶋英機(広島工業大学客員教授/CIFER・コア理事長)
 - (コメンテーター) 中泉昌光氏(東京海洋大学特任教授)
 - (パネリスト) 五十音順
- 安藤 亘氏(株式会社海中景観研究所専務取締役)
- 奥本裕正氏(大崎内浦漁業協同組合専務理事)
- 富田 宏氏(株式会社漁村計画代表取締役)
- 三浦智恵美氏(広島工業大学教授)
- 柳川 建氏(広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター次長兼技術支援部長)
- 横山隆司(CIFER・コア理事)



① 開会挨拶 高田幸典(大崎上島町長)

フォーラムの主催者である大崎上島町長・高田幸典氏は、開会挨拶で、海を使った町の振興を図れればと思い、島の可能性を探るべく、去年の4月から周辺海域の調査事業を始めた。本日は大崎上島の漁業について有意義な討論会になってほしいとの思いを述べられました。



② 平成 30 年度の業務報告と今後の予定

CIFER・コアの北田参与から、「大崎上島の新たな漁港漁場再生事業計画」策定業務について業務報告や、これからの進め方について説明を行いました。

③ パネルディスカッション

最初に、CIFER・コア理事長 上嶋英機から大崎上島の現状について説明があった後、6名のパネリストが様々な角度から、島の漁業再生に関連した話題提供を行いました。株式会社海中景観研究所の安藤氏からは「藻場の再生」について、大崎内浦漁業協同組合の奥本氏からは「大崎上島大崎上島での水産業についての課題と展望」について、株式会社漁村計画の富田氏からは「日本全国の漁村の地域振興」について、広島工業大学の三浦氏からは「漁業を支える人材と運用」について、広島県立総合技術研究所水産海洋技術センターの柳川氏からは「水産増殖に関する注意点」について、CIFER・コアの横山理事からは「CIFER・コアの海域環境再生事業」について、それぞれお話をいただきました。

その後、コメンテーターの東京海洋大学 中泉氏から、大崎上島が今持っているものを活用し、このような話し合いを重ねてアイデアを出すことで、漁業・漁場の再生とにぎわい創出の2つがうまく結びつき、ひとつのビジネスができるのではないかとの総括をいただきました。



＜コーディネーター＞
CIFER・コア理事長 上嶋 英機



＜コメンテーター＞
東京海洋大学特任教授 中泉 昌光氏

＜パネリスト＞



株式会社海中景観研究所
専務取締役 安藤 亘氏



大崎内浦漁業協同組合専務理事
奥本 裕正氏



株式会社漁村計画
代表取締役 富田 宏氏



広島工業大学教授
三浦 智恵美氏



広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター
次長兼技術支援部長 柳川 建氏



CIFER・コア理事
横山 隆司